

えひめ海事産業協働コンソーシアム及び愛媛大学工学部海事産業特別コース設置記念
海事産業×地域(海事都市・今治)×大学(愛媛大学)連携シンポジウム2025

趣 旨 説 明

愛媛大学工学部長 森脇 亮

令和7年9月26日

「えひめ海事産業協働コンソーシアム」発足の経緯

(前身)

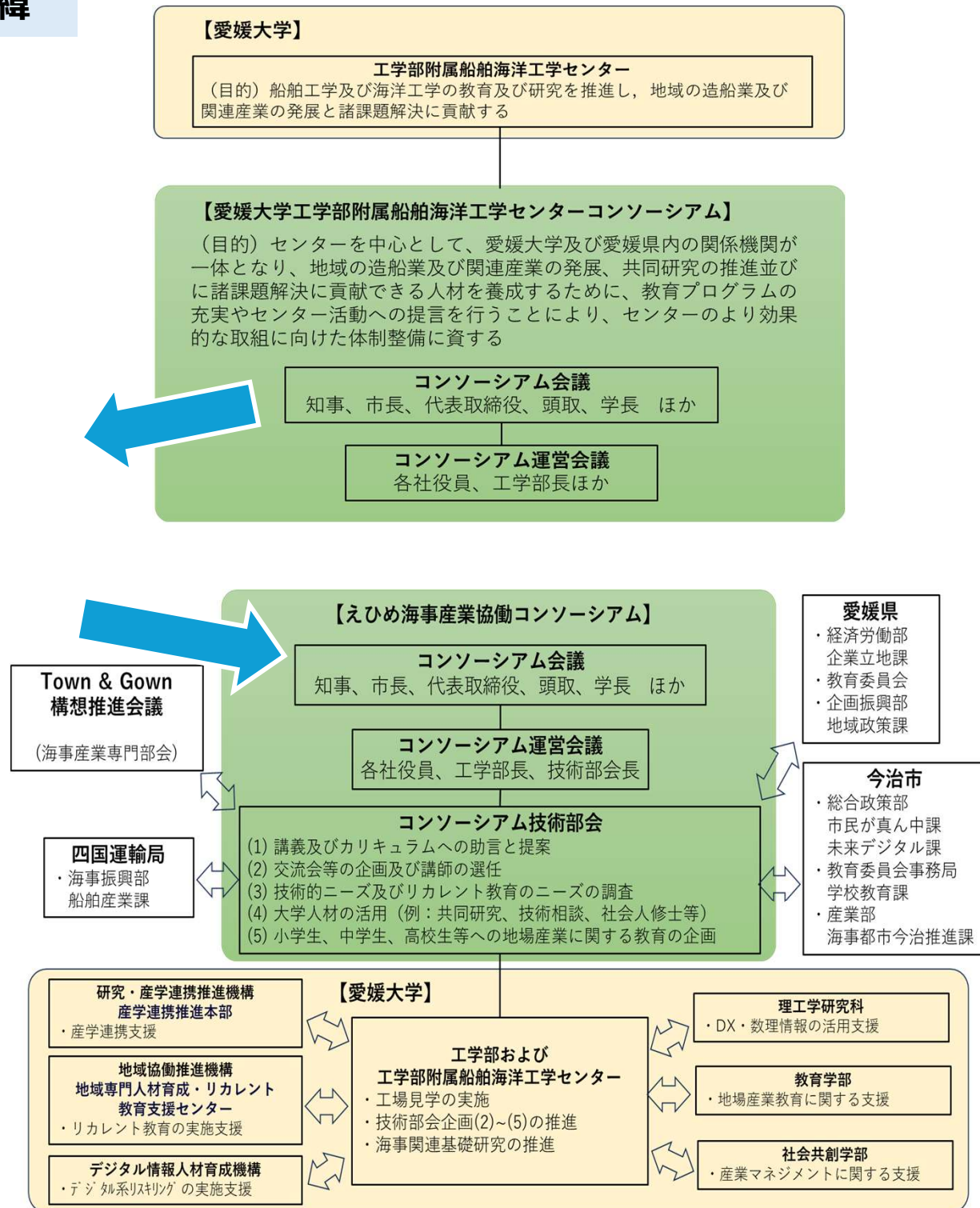
愛媛大学工学部附属船舶海洋工学センターコンソーシアム 2018年6月設置

コンソーシアム構成機関

愛媛大学
愛媛県
今治市
国土交通省四国運輸局
浅川造船株式会社
今治造船株式会社
株式会社新来島どっく
檜垣造船株式会社
潮冷熱株式会社
B E M A C 株式会社
四国溶材株式会社
眞鍋造機株式会社
株式会社伊予銀行
株式会社愛媛銀行
愛媛信用金庫

2024年11月

えひめ海事産業協働コンソーシアムが発足



えひめ海事産業協働コンソーシアム

(目的) 愛媛で学び育った高度エンジニアが、海事産業に携わり、その継続的な発展を支える循環を生み出すための取組みを、海事産業界、行政及び大学が連携して推進することにより、地域の海事産業の発展、造船技術の高度化の推進並びに諸課題解決に貢献できる人材養成に資すること

2024.11.1設置

【えひめ海事産業協働コンソーシアム】

コンソーシアム会議
知事、市長、代表取締役、頭取、学長 ほか

コンソーシアム運営会議
各社役員、工学部長、技術部会長

コンソーシアム技術部会

- (1) 講義及びカリキュラムへの助言と提案
- (2) 交流会等の企画及び講師の選任
- (3) 技術的ニーズ及びリカレント教育のニーズの調査
- (4) 大学人材の活用（例：共同研究、技術相談、社会人修士等）
- (5) 小学生、中学生、高校生等への地場産業に関する教育の企画

Town & Gown 構想推進会議

(海事産業専門部会)

四国運輸局

- ・ 海事振興部
- ・ 船舶産業課

愛媛県

- ・ 経済労働部
企業立地課
- ・ 教育委員会
- ・ 企画振興部
地域政策課

今治市

- ・ 総合政策部
市民が真ん中課
未来デジタル課
- ・ 教育委員会事務局
学校教育課
- ・ 産業部
海事都市今治推進課

【愛媛大学】

研究・産学連携推進機構 産学連携推進本部

- ・ 産学連携支援

地域協働推進機構 地域専門人材育成・リカレント 教育支援センター

- ・ リカレント教育の実施支援

デジタル情報人材育成機構

- ・ デジタル系リスキングの実施支援

工学部および

工学部附属船舶海洋工学センター

- ・ 工場見学の実施
- ・ 技術部会企画(2)~(5)の推進
- ・ 海事関連基礎研究の推進

理工学研究科

- ・ DX・数理情報の活用支援

教育学部

- ・ 地場産業教育に関する支援

社会共創学部

- ・ 産業マネジメントに関する支援

令和6年度 えひめ海事産業協働コンソーシアム技術部会講演会

◆ 日 時：令和7年2月10日（月）13:00～16:15

◆ 場 所：みなと交流センター「はーばりー」（愛媛県今治市片原町1丁目1-27）

◆ プログラム：

13:00～13:05 挨拶

愛媛大学工学部長 森脇 亮

13:05～13:15 えひめ海事産業協働コンソーシアム、海事コース構想、T&Gについて

技術部会長 松下 正史

13:15～13:45 「台風を脅威から恵みに変える

～2050年の社会に対する海事産業の新たなチャレンジ～」

横浜国立大学准教授 満行 泰河 氏

13:45～14:15 「アーク雰囲気ガスの周期的な組成変化を利用した

炭酸ガスアーク溶接時の低スパッタ化への取り組み」

愛媛大学准教授 水口 隆 氏

14:15～14:45 「今治モデル「ふるさとキャリア教育」における海事産業」

愛媛大学教授 鴛原 進 氏

15:00～16:10 ポスター発表 兼 懇親会

16:10～16:15 閉会の挨拶



松下技術部会長



横浜国立大学
満行准教授



工学部
水口准教授



教育学部
鴛原教授



ポスターセッションの様子

計26件の研究発表ポスターが並び、産官学からの参加者による活発な情報交流が行われた

愛媛大学の新たな学び（海事産業特別コース）とその拠点

設置準備委員会

今治サテライト

令和7年
2025. 5月22日 ●
◇工学部海事産業特別コース設置の
プレス発表（「FLOW」@今治地域地場
産業振興センター）

令和8年
2026.4月 ●
◇工学部に海事産業特別コースを設置
1期生入学(20名程度)

令和10年
2028.4月 ●
◇3年次以降は今治で修学
すべての単位を取得可能
・海事産業特別コース(3年次)配属
・3年次編入生入学

令和12年
2030.4月 ●
(繰り上げの予定)
◇大学院コースを設置
→修士,博士が今治で取得可能



IMABARI Ocean Techno-Campus（イメージ）



図. 写真はナント(仏) の同種施設。

愛媛大学今治キャンパスとしての利用

- ・学部・大学院生教育
- ・リカレント、リスキリング教育の拠点
- ・愛媛大との共同研究拠点

Joint research platformとしての展開

- ・国内外の大学、企業との協働拠点
- ・海事関連ベンチャーの誘致、拠点提供

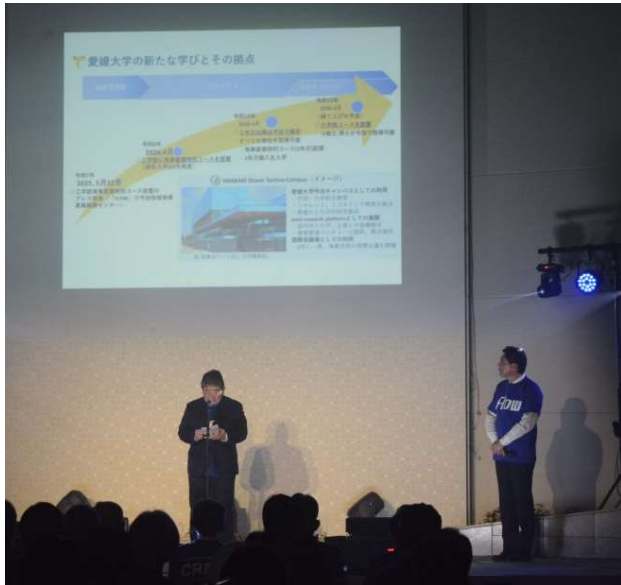
国際会議場としての利用

- ・2年に一度、海事技術の国際会議を開催

「バリシップ2025」 関連イベント 「Flow」

2025年5月22日（木）

仁科学長による新コースのお披露目



コンソーシアムの皆様と記念撮影



徳永市長、仁科学長によるトークセッション
テーマ：今治海事都市発展ビジョンの推進、
海事都市・今治の未来創生



2026年4月 愛媛大学工学部海事産業特別コース 設置



広く総合的に「モノづくり」に関する工学を学び、海事産業全体を俯瞰できる人材を養成する教育コース

○コースの特色

(1) 幅広いモノづくりが履修できるカリキュラム

機械工学コースで開講している授業をベースに、複数コースの専門科目を併せたカリキュラムで、「モノづくり」について幅広い知識を習得できます。

(3) 産学連携での実習科目の充実

3年次には「今治サテライト」で、海事インターンシップ、船舶舶用工学実験、探求型PBLなど、実際の産業に触れる豊富な実習系科目を受講できます。

(2) 海事産業全体を俯瞰する講義の充実

愛媛県今治市は国内最大・世界屈指の海事拠点（国内シェア：造船建造量34%、外航船保有量30%）です。当地に設置する「今治サテライト」にて、世界基準で活躍する皆様と協力して作る教育プログラムを通して、工学と共に海に関連するビジネスの流れ全体にわたる総合的知識を習得できます。

○身につく能力

✓モノづくりに関する工学の基礎知識

✓船舶及び海洋構造物（※1）の規則、海洋法規

✓船についての基礎知識

✓海運を含めた海事ビジネスについて俯瞰する能力

※1 発電や・石油生産・海上空港など、一般に海洋開発に使用される構造物です

○カリキュラム構成（専門教育科目）

(1) 自然科学・モノづくりに関する科目

設計製図、CAD実習、材料力学、機械力学、加工工学、金属溶接工学、地球生態学 etc.

(2) 海事産業関連科目

船舶工学入門、海洋工学入門、海事技術、船舶性能基礎、海事法規

(3) 船舶舶用、海事産業関連実習科目

船舶舶用工学実験、海事インターンシップ etc.

○入試 募集人員（定員目安 18名）

総合型選抜Ⅰ

4名

総合型選抜Ⅱ

4名

一般選抜（理型）

[1年次後学期のコース選択にて]

10名程度

海事都市・今治で、
世界から求められる
海事産業のスペシャリストを
目指す。

○卒業後の進路

「海事産業のスペシャリストとして地域社会で活躍できる人材へ」

- ・船舶設計、船用機器設計を専門とするエンジニアへ
- ・汽船、海運の経営を行うエグゼクティブ・マネージャーへ



「えひめ海事産業協働コンソーシアム」は、愛媛県で学び育った高度エンジニアが海事産業に携わり その継続的な発展を支える循環を生み出す取組みである海事産業特別コースを応援します。

【コンソーシアム構成員】愛媛県、今治市、国土交通省四国運輸局、浅川造船株式会社、今治造船株式会社、株式会社新来島どっく、檜垣造船株式会社、潮冷熱株式会社、BEMAC株式会社、四国溶材株式会社、眞鍋造機株式会社、株式会社伊予銀行、株式会社愛媛銀行、愛媛信用金庫

2025年8月25日

一般社団法人いまばり船みらい振興会の設立

法人社員

浅川造船株式会社
今治造船株式会社
株式会社新来島どっく
檜垣造船株式会社
潮冷熱株式会社
BEMAC株式会社
四国溶材株式会社
眞鍋造機株式会社
株式会社伊予銀行
株式会社愛媛銀行
愛媛信用金庫

✓ 法人設立の目的

愛媛県における海事産業に関する教育および学術の振興を図り、新技術の研究・開発により産業の持続的発展と人材育成に寄与する

✓ 事業内容

1. 海事産業を担う次世代人材の教育プログラムの企画・運営の支援
2. 海事産業に携わる人材のリテラシー教育およびキャリア教育の支援
3. 海事産業に関するシンポジウム、セミナー、講演会等の開催に関する支援
4. 産業界、学会、官公所、金融機関等の連携による新技術の研究・開発の促進、支援および成果の普及広報活動
5. 関係機関・団体との協力および情報交換

賛助会員

株式会社みずほ銀行今治支店
三井住友信託銀行株式会社松山支店

支援

人材育成
研究・技術開発

愛媛大学（主に工学部）

海事産業特別コース、航空宇宙船舶工学研究会（準正課活動）、
海事関連の研究・技術開発、社会人向け海事リカレント教育等

特定教員採用（今治に駐在）

お知らせ



2025年9月3日

愛媛大学航空宇宙船舶工学研究会
(二宮翔会) 船部が「第3回
E/SASV Games2025」において大
会史上初の快挙を達成しました【8
月17日(日)】

令和7年8月16日(土)から17日(日)にかけて、滋賀県・琵琶湖で開催された「第3回E/SASV Games2025」において、工学部所属の学生団体「愛媛大学航空宇宙船舶工学研究会(二宮翔会) 船部」が、4位での入賞を果たしました。

第3回E/SASV Games2025は、自律航行システムを搭載した無人船・ASV(Autonomous Surface Vehicle)を太陽光のみで走行させることを競技としている大会です。参加艇は、琵琶湖上の20キロメートルにおよぶロングコースを、人が操作することなく、太陽光発電による電力のみを用いて、GPSやセンサー・プログラムによって、風や波等の自然条件に対応しながら自律的に航行します。

競技では、航行の正確さ・安全性・完走タイム等が評価の対象となります。

愛媛大学航空宇宙船舶工学研究会(二宮翔会) 船部は、本大会に初めて出場し、全国から14チームが出場する中、4位に入賞しました。初出場のチームが4位に入賞することは、大会史上初の快挙ということです。

愛媛大学航空宇宙船舶工学研究会(二宮翔会) 船部は、2002年の発足以降、人力飛行機の制作・運用を中心に活動しており、近年では、ロケットや船舶の制作・運用についても日々開発に励んでおります。

愛媛大学航空宇宙船舶工学研究会(二宮翔会) 船部の今後の活躍が大いに期待されます。



愛媛大学工学部 PBL (Project Based Learning)

実社会の題材より解決すべき課題を抽出し、工学的な視点からその解決策を提案します。

PBLの目的

愛媛大学工学部では、従来の専門教育に加え、業務遂行能力やコミュニケーション、情報処理、倫理などのリテラシーを養い、複合領域で柔軟な応用力を持つ人材育成を目指しています。その一環として、3年生対象の「学部共通PBL」を開講し、4～5人の学生チームで課題解決に取り組む中で、実践的な課題解決力を育成しています。この授業は、工学部の9つの専門コースの学生を混成チームにし多様な視点で地域課題・社会課題に取り組む（融合型）と専門コースの学生のみでチームを構成し課題解決に取り組む〔探求型〕があります。実社会で日々課題に取り組まれている皆様より学生に直接ご指導いただけると幸いです。

PBL〔融合型〕学生チームの活動

履修対象者 工学部3年生 約50名

1チームの構成 専門コースの異なる4～5人

- ① 各チームは、自ら題材を設定し、分析して課題を見つけます。その課題に関連する技術や市場ニーズを調査し、工学的な知識や新しいアイデアを加えて、最終的に課題解決策を提案します。また、提案の際には、事業化や社会実装に向けた具体的な計画を立てます。
- ② 各チームは、取り組む内容に応じ、関連する関係者から意見を聞きます。試作品の制作や簡単な実験、シミュレーションを通じて、概念実証（PoC）を行います。※予算と期間の制限内で実施

PBL〔融合型〕のテーマと題材例

2025年度は今治など愛媛県の課題解決に取り組みます。

- 1.再生可能エネルギーの導入、カーボンニュートラルの実現
・中島の光をつくる潮流発電 (2023)
- 2.循環型社会への取り組み
・マイクロプラスチックをランタン錯体で分解してきれいな海を！ (2022)
- 3.地域産業のイノベーション（東予・中予・南予）
・今治造船のDX化 (2024)
- 4.訪れたい魅力的なまちづくり
・デジタル×博物館 ～展示物の3Dモデル化 (2024)
- 5.暮らしやすい地域を目指し、生活の安全・安心を実現
・完全自動運転の導入に向けた松山市の交通改善 (2021)
- 6.災害対策―大地震や豪雨に備え、災害に強い地域づくり
・観光客を対象とした「防災×まちあるき」ARの開発 -八幡浜みなと- (2024)
- 7.高齢社会における課題解決
・介護現場の負担軽減：AIで支える人手不足解消策 (2024)
- 8.新時代に適合した工学技術の活かし方
・愛媛のプロスポーツを盛り上げる～試合観戦をより手軽に～ (2022)

※具体的な課題解決策提案の発表例を、愛媛大学ウェブサイトに掲載しています。
（ホーム>教育>愛大生の学習成果の公開 令和6年度の工学部卒に掲載）

<https://www.ehime-u.ac.jp/education/achievement/>

9つの専門コース

機械工学コース (70名)	機械システム分野
知能システム学コース (20名)	分野
電気電子工学コース (80名)	電気情報分野
コンピュータ科学コース (40名)	分野
応用情報工学コース (40名)	分野
材料デザイン工学コース (70名)	材料化学分野
化学・生命科学コース (90名)	分野
社会基盤工学コース (65名)	土木環境分野
社会デザインコース (25名)	分野



愛媛大学基金の概要

令和7年6月現在

一般基金 使い道はおまかせ！

えみか夢基金



地域定着促進
特別奨学金
愛媛県内の企業等に就職する強い意欲のある学生を支援



海外留学支援
学生の海外派遣渡航費の一部を支援

その他の活用事例

- ・学生の就職活動支援
- ・教育研究環境の整備事業
- ・災害復旧支援
- NEW**・ダイバーシティ推進事業 など

寄附の使い道を愛媛大学に一任（おまかせ）する基金です。全学的な活動や人材育成事業など、さまざまな取組に幅広く活用させていただきます。

特定基金 学部やプロジェクトにエール！

「学生」や「若手研究者」にエール！【税額控除対象】

未来教育基金

- ・経済的な理由で修学が困難な学生を支援
- NEW**・障害のある学生を支援

修学サポート奨学金

家計支持者の死亡・失職・傷病など、特別な理由で経済的な困難に陥った学生を支援

若手研究者支援基金

次世代のイノベーションを担う学生や若手研究者の研究活動を支援



「学部」等の活動にエール！

医学部支援基金

医学部における人材育成

ユーカリ基金

農学部における教育・研究環境整備

理学支援基金

理学人材育成・環境整備

連合農学研究科(40周年記念事業)支援基金 **NEW**

連合農学研究科の教育研究環境整備

医学部附属病院開院50周年記念事業 **NEW**

附属学校園支援基金

附属学校園の教育のさらなる充実

工学支援基金

工学における教育・研究整備等

社会共創支援基金 **NEW**

社会共創学部の教育研究環境整備

研究やプロジェクトにエール！

アントレプレナーシップ育成基金

アントレプレナーシップ教育の充実

基礎医学研究推進基金

基礎医学研究の拡充・推進

施設維持管理基金

教育研究活動を支える施設維持管理

海事産業人材育成基金 **NEW**

海事産業人材の育成活動の充実

課外活動支援基金

課外活動の活性化を通じた人材育成

広報人材育成基金

デジタル技術を活用した広報人材育成

地域創生基金

地域密着型センターの活動の充実

図書館支援基金 **NEW**

図書館における資料・学修環境整備

紙産業研究教育基金

紙産業の研究教育の拡充

四国遍路・世界の巡礼研究センター支援基金

遍路研究、教育、地域貢献の充実

デジタル情報人材育成基金

デジタル情報人材の育成活動の充実



知と技術の融合で拓く
海事都市今治の未来